

としよかんだより

「かぞく」・「おひなさま」

2017年2月号 No.143
発行：桑名市立中央図書館
電話：0594-22-0562
FAX：0594-22-0795



えほん

- 『いのちのまつり』(草場 一寿/作)
- 『おかあさんのいのり』(武鹿 悦子/作)
- 『おじいちゃん』(ジョン・バーニンガム/作)
- 『はなちゃんのみそ汁』(安武 信吾/原作)
- 『ロバのシルバスターとまほうのこいし』(ウィリアム・スタイグ/作)
- 『ひみつひみつのひなまつり』(鈴木 真実/作)
- 『ぼんぼらみん』(藤川 智子/作)
- 『ゆりちゃんのおひなさま』(花山 かずみ/作)
- 『おひなまつりのちらしずし』(平野 恵理子/作)



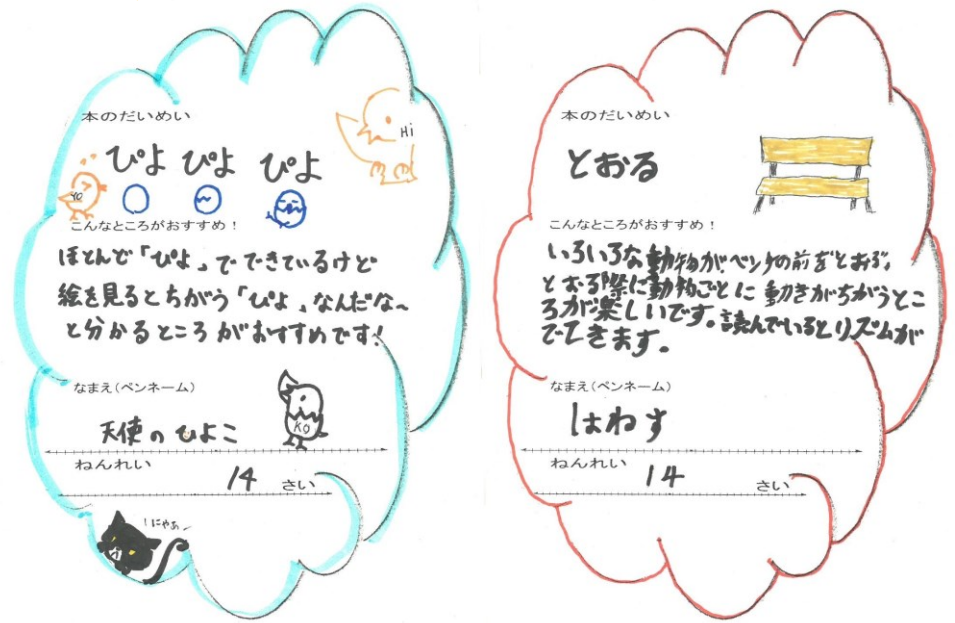
児童書

- 『おとまりのひなまつり』(宮川 ひろ/作)
- 『きのうの夜、おとうさんがおそく帰ったそのわけは…』(市川 宣子/作)
- 『ひなまつりのお手紙』(まはら 三桃/作)



☆ティーンズの棚の今月の特集も『はじめよう!』です。気になる本を読んで何かを始めるきっかけにしてみませんか?

職場体験生からのオススメ絵本です!!



最近はいった新しい本を紹介します

絵本

- 『だるまちゃんしんぶん』 加古 里子/作 Eカ
- 『しんけんしょうぶ だるまさんがころんだ』 武田 美穂/作 Eタ
- 『へんてこだより』 斉藤 洋/作 Eス

児童

- 『けん玉道の師・藤原一生物語』 おち まさ子/著 289フ
- 『アクティブ・ラーニングで身につく発表・調べ学習』 河出書房新社 375ア
- 『いきものかいかた図鑑』 浅井 ミノル/文 480イ
- 『コアラ病院へようこそ』 スージー・エスター・ハート/文・写真 489エ
- 『使って覚える記号図鑑』 白鳥 敬/著 801シ
- 『英語好きな子に育つたのしいお話 365』 小学生のための英語教育研究グループ/著 830エ
- 『くろぐミ団は名探偵』 ユリアン・プレス/作 943フ
- 『トキメキ♥図書館』 服部 干春/作 913ハ
- 『「守り人」のすべて』 上橋 菜穂子/著 Y913ウエ

ほか、新刊コーナーにあります。どうぞご利用ください!



この本しってる？

『にんじんとごぼうとだいこん』 すずき出版

にほんみんわ 日本民話 わかやま 和歌山 しずこ 静子/絵 えほん⑫の棚



冬^{ふゆ}においしい根菜^{こんさい}の にんじんとごぼうとだいこん。それぞれ色がちがうけれど、いったいなぜでしょう？

そのわけをうまく、おもしろく おしえてくれる日本の民話^{にほんみんわ}です。人に話^{ひと}したくなりますよ。おふろで あったまる^{ねんかん}時^{とき}にも思い出^{おも}してね。(1991年刊)

『こねこのチョコレート』(Eカ) こぐま社

B.K.ウイルソン/作 さく こばやし 小林 いづみ/訳 やく おおこそ れいこ 大社 玲子/絵 えほん⑩の棚

ジェニーは おとうとの誕生日^{たんじょうび}プレゼントをおかあさんと買いに行きました。おもちゃやさんで おかあさんが選^{えら}んだのは青と白で色づけされた大きなヘリコプターでした。自分の百円玉^{ひゃくえんだま}を持って おかしやさん^いに行ったジェニーが おいしそうなものの中から選^{えら}んだのは「こねこの形^{かたち}のチョコレート」。ところがその夜^{よる}…。 (2004年刊)



ゆめはま文庫アンケートから⑩

0才セットを借りてみたら



- ぐずっていても静かになってじっと聞いています。興味のない本だと すぐうつぶせになって遊びだすので好き嫌いがわかりやすいです。困ったことではないですが、言葉のくり返しや音の絵本をあまり好みません。好きになってもらうには何か工夫が必要でしょうか？ (0才4ヶ月)
- 『いらないばあ』の「ばあ」のところを待っていて、大きさに「ばあ」と言うとても喜びます。『あがりめさがりめ』の本は絵と色が気に入ったようです。(0才7カ月)

ぐずっていても静かになってじっと聞いてくれるので、お母さんの声に耳を傾けていることがわかります。声に反応して手足をバタバタさせること、絵をじっと見ること、目で絵を追って声を出すことなどで絵本に興味をもっていることを教えてくれます。絵本の好みが わかれば、興味のある絵本を何回も読んであげることをおすすめします。絵本の好みは感性の違いや、月齢でも変わりますが、あかちゃんは生きていく本能から人の顔に反応します。松谷みよ子あかちゃんの本『いらないばあ』の表紙は くまちゃん^{くまちゃん}が正面を向いています。ページをめくると顔を両手で隠したにゃあにゃが「いらないばあ…」をして次のページで「ばあ」と顔を見せます。語りかけのことばとページごとの絵の変化に惹きつけられ あかちゃん^{あかちゃん}が喜びるので 1967 年に初めて出版されて以来、多くの人に読み継がれてきました。(絵本がこの世にうまれてから、累計 100 万部以上発行された絵本の総称を「ミリオンぶっく」と呼びます。『いらないばあ』は不動の断然トップです。) アンケートの声から、『いらないばあ』の「ばあ」が心に残り、次回読んでもらう時に次を予測するお子さんの様子が伝わります。このような工夫ができて期待にこたえてあげるとお子さんは絵本を読んでもらうのが楽しみになりますね。また、月齢の差も大きい頃なので、しばらくして再度借りてみると思いがけない反応を見せてくれることに驚かれる方も多いです。ゆめはま文庫を何回も借りることは、絵本を介してお子さんの変化・成長に気づくきっかけとなります。工夫としては ①静かな環境で普段からお子さんに話しかけてあげましょう。あかちゃんの出す声、音をまねして返してあげましょう。このやりとりが親子の信頼の土台になります。②あかちゃんは顔に反応します。少し高めの声で、ゆっくりと表情豊かに読んでみてください。音は区切って 歯切れよくリズムカルに。③『あがりめさがりめ』『ととけっこう』の わらべうた絵本から、一つでいいので ゆっくりくり返し うたってあげましょう。